

平成 26 年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計決算（速報値）の概要

※ この決算は、監査委員の審査を経て市会に上程され、認定を受けて確定します。

水道事業・工業用水道事業ともに、営業損益・経常損益は黒字を達成しました！

**3つの大規模
施設が稼動！**

〔26 年度の特徴的な取組〕

- ・ 日本最大規模の膜ろ過装置を導入、川井浄水場セラロック！
- ・ 浄水場停止時のバックアップを強化、大環状線！
- ・ 防災拠点機能を強化しリニューアル、中村ウォータープラザ！

水道事業会計

1 平成 26 年度決算のポイント！

(1) 営業損益は 35 億円の黒字、経常損益は 83 億円の黒字を計上

水道料金収入は、前年度に比べ 18 億円減少し、652 億円となりました。

営業活動による損益を示す営業損益は、35 億円の黒字を計上しました。

経常損益は 83 億円の黒字となりましたが、地方公営企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金等の計上により、149 億円の特別損失を計上したため、純損益は 50 億円の赤字となりました。

※地方公営企業会計基準の見直し

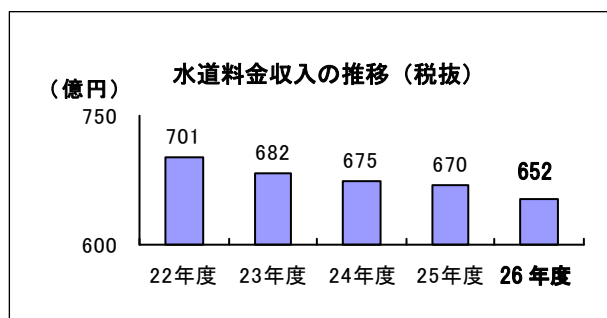
企業会計原則を最大限取り入れ、経営の透明性の向上や企業会計との整合性を図る目的で、地方公営企業法等の改正に伴う会計基準の見直しが 26 年度に行われました。本市水道事業会計では、見直しに伴う引当金の計上等により、損益が大きく変動しました。

《収支の状況》

(億円)

	26 年度	25 年度	増△減
水道料金収入（税抜）	652	670	△18
営業損益（税抜）	35	54	△19
経常損益（税抜）	83	57	26
純損益（税抜）	△50 [24]	58	△108 △34

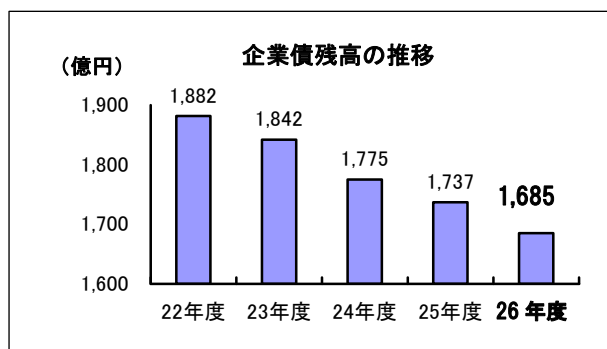
[]は旧会計基準で算出した値



(2) 企業債残高は 1,685 億円の縮減

借金である企業債は、残高が増加すると元利償還金の増加につながり、財政硬直化の要因となります。

残高の縮減を図るため、発行額が償還額の範囲内とするよう発行を抑制した結果、企業債残高は前年度に比べ 52 億円減少し 1,685 億円に縮減しました。



裏面あり

2 平成26年度の主な事業について

(1) 安心・安全な水をお届けします！ 川井浄水場セラロック※

使用するエネルギーや薬品が少ない、エコな浄水場に生まれ変わった川井浄水場セラロックは、市内約31万戸に水をお届けしています。

また、環境にやさしく、民間事業者と連携したPFI方式による先進的取組が評価され、**第1回水道イノベーション賞**（公益社団法人 日本水道協会）や**第17回日本水大賞 厚生労働大臣賞**（公益社団法人 日本河川協会）を受賞しました。



(セラミック膜)



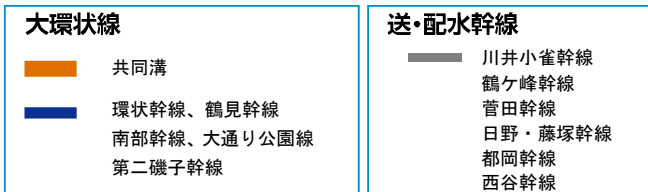
セラミック膜を使用した膜ろ過装置
PFI方式によりウォーターネクスト横浜㈱が資金を調達し、施設を建設（21年度から25年度）しました。

※ セラロックは、愛称公募により「膜の材質のセラミックス」と「ろ過」を組み合わせて命名しました。

(2) 災害時も安定して水をお届けします！ 大環状線

26年11月に第二磯子幹線の整備が完了したことにより、市内を一周する全長約70kmの大環状線が完成しました。この大環状線と主要な送配水管で、浄水場や配水池を結ぶ環状ネットワークが形成されました。

これにより、災害時に1つの浄水場が停止した場合には、他の浄水場から環状ネットワークを通じてバックアップをすることで、市民の皆様に安定して水をお届けすることができます。



(3) 地震などの災害時には地域の防災拠点に！ 中村ウォータープラザ

耐震性が高く、非常用電源設備を備えた庁舎に建て替え、災害時には速やかな応急復旧体制が確保できるよう強化しました。



中村ウォータープラザ

工業用水道事業会計

1 平成26年度決算のポイント！

(1) 営業損益は7億4千万円の黒字、 経常損益は9億1千万円の黒字を計上

工業用水道料金収入は、前年度に比べ3千万円減少し、27億円となりました。

営業活動による営業損益は7億4千万円、経常損益は9億1千万円の黒字を計上しました。

地方公営企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金等の計上により、3億3千万円の特別損失を計上しましたが、純損益は7億3千万円の黒字となりました。

(2) 企業債残高は34億4千万円に縮減

企業債の発行を抑えるなど、積極的な残高縮減の取組により、企業債残高は1億3千万円減の34億4千万円に縮減されました。

《収支の状況》

(百万円)

	26年度	25年度	増△減
工業用水道 料金収入（税抜）	2,702	2,727	△25
営業損益（税抜）	738	919	△181
経常損益（税抜）	907	867	40
純損益（税抜）	727	908	△181
	[794]	908	△114

[]は旧会計基準で算出した値

お問合せ先

水道局 経 理 課 長	山 田 源 太	TEL 045-633-0109
水道局 工業用水課長	工 藤 裕 二	TEL 045-954-3331